

◇ 北海道穂別高等学校 ◇

〔本校の概要〕

本校は、恐竜の町として売り出し中のむかわ町穂別地区にある全日制普通科1間口の学校である。「鷗川町」と「穂別町」が合併して12周年を迎える本町は、少子化の進行が顕著である。また、本校は公共交通機関を使用して通学することが困難であるため、全校生徒の約半数は、町立の「穂星寮（すいせいりょう）」で生活をしている。

寮生の多くは中学校時代に不登校を経験し、特別な支援を要する生徒も多く存在している。しかし、スクール・カウンセラー、パートナー・ティーチャー、及び学校サポーターを配し、教員が日常的な教育相談や面談を丁寧、かつ根気よく行うことにより、今年度10月末日までの欠席日数を数えても、最大値は12日であり、半数以上の生徒は欠席日数が0日である元気な学校です。

〔今年度の状況〕

例年の学校祭・体育大会・屋内競技大会では保護者に参加を促し、生徒の姿を見に来ていただくだけでなく、競技などへの参加も促していた。

しかし、現在のコロナ禍の状況により様々な学校行事が中止や変更を余儀なくされた。そのような中で、学校祭の代替行事を10～12月の3ヶ月に渡り、実施した。これは、生徒会執行部がテーマを「Restart」として企画・運営し、全校生徒を巻き込んでの行事となっている。その他の行事も、昨年度は小中学校と連携して実践していた行事についても本校のみの単独開催とするなど、現在の状況下であってもなんとか実践する方向を模索しながら、学校生活を送っている。

